

障害者が思いっきり仕事できる 日本でいちばん働きやすい会社 ～ OKI ネットワーカーズ物語 ～

土屋 竜一(つちや りゅういち) 著

出版社:中経出版

本体 1,400 円(税込 1,470 円) / 四六判 / 並製 / 2 色刷 / 222 ページ

**重い障害があっても働ける！
在宅勤務システムづくりに賭けた人々の感動のノンフィクション**

1月29日発売

本書の内容

OKI の子会社の IT 企業「OKI ワークウェル」で、ある意欲的な取り組みが行われています。通勤の困難な重度身体障害者を社員として採用し、日本各地に点在する、計三十数名の在宅勤務社員によるチーム「OKI ネットワーカーズ」を組織。ウェブサイトの制作を中心とする業務に当たっているのです。このような形態は、日本でも非常に珍しいものです。

著者自身も、この「OKI ネットワーカーズ」の一員です。全身の筋肉が徐々に萎縮していく難病「デュシェンヌ型 筋ジストロフィー」に冒され、現在は車イスを使い、人工呼吸器を使用。小指しか動かない。声が出せない。自分の置かれた境遇をもどかしく思う日々もあった、でも、いまは誇りをもって働ける職場がある、仲間がいる。

本書は、著者自身の体験や、一緒に働く仲間たちの仕事ぶりなどを交えながら、会社としてのユニークな取り組みや苦闘の歴史を浮き彫りにする読み物です。実際に重度の身体障害のある著者だからこそ、働く上での「本音」や、障害にまつわる苦労なども、圧倒的なリアリティをもって描かれています。

また、現在、一定規模以上の会社については、従業員の 1.8%は障害者を雇いなさいという「法定雇用率」が法律で定められています。ユニクロなど、一部の先進的な企業は、この雇用率を大幅に上回っていますが、該当する半数以上の会社は、この法定雇用率の達成にも四苦八苦しているというのが現状。本書は、感動的なドキュメントというだけでなく、これらの企業にとっても、大きなヒント、生きた実例となる本です。

本書の目次

- 第 1 章 障害者在宅雇用への挑戦
- 第 2 章 OKI ワークウェル創業
- 第 3 章 ワークウェルコミュニケータの誕生
- 第 4 章 仕事と雇用の開拓
- 第 5 章 OKI ネットワーカーズの未来

